

# ごとう通信

第 258 号

令和 4 年 6 月 1 日

5 月から暑くなりました。「もう夏だっけ？」と思ってしまうほどでした。でもじめじめとした雨よりは気持ちよく過ごせましたね。

先月のゴールデンウィーク、久々に広島に帰省しました。両親とも約 2 年半ぶりの再会。これまで電話で話すだけでしたが、あまり変わりなく元気にしていて安心しました。「時間さえあればいつでも帰れる」という感覚だったのですが、コロナのおかげで、帰れるときは帰らないといけないなあと思うようになりました。その帰省ですが、新幹線の乗客も、街もかなり人が戻ったと感じました。まあ、以前が疲れるほどの人ごみだ



ったので、個人的にはちようど良かったです。

さて、仕事の一環で、僕は月に数回原宿に行きます。皆さんもご存知、竹下通りはいつも混

雑。しかし、コロナが始まってから本当に人がいなくなりました。以前、仕事前に少し時間があつたので、駅前から明治通り方向に入っていたのですが、300メートルを20分で到達できないほどの混雑でした。多くは外国人観光客と修学旅行の学生、そして地方の若者たち。これらの人たちがコロナで来れなくなったので本当にガラガラでした。小さい店がずらりと並んでいるので、全滅して

しまうんじゃないかと心配もしました。最近は6割くらい戻ってきているでしょうか。原宿の人ごみは好きではありませんが、もう少し人が戻ってきてほしいなあと思います。

## 読書

30歳代は本当に多くの本を読みました。記録はとっていないのですが、多読だったので10年単位で考えると千冊という単位かもしれせん。基本的に小説は読まないのですが、ジネス本が多かったかなあと思います。ところが！40歳代になると老眼が進み、見えない、見えにくいということもあり、パタツと読書習慣が途絶えてしまいました。

そして！50歳代中盤になってい